

【22_322思考系メルマガ】「うまくやろう」とするほど、うまくいかない

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

トレードのお悩みあるあるなこととして

「損切り(建値撤退)した後で目線方向に置いてかれた」

「利確したら、もっと伸びた」

まあ、本当によくあるというか、トレードの後って大抵こんなのばかりですよ(笑)

僕だって、講座等で僕のトレードの結果を見ている人はよく知っていると思いますが

建値の後に目線方向に伸びて行く事なんて日常茶飯事だし

利確した後ぐんぐん伸びて行くチャートだって沢山あります。

100点満点の満足いくトレードなんて、求めてもしょうがないってことです。

今日はそれに対してどんな対策をしているのかという話をする、、、のではありません。

これこそ、僕に言わせれば「結果で論じる無意味な話」であり、これを何とかしよう＝うまくやろうとする考えは

トレードで利益を上げていくうえでは、逆効果にすらなるものです。

今日のテーマは、トレードにおいて「うまくやろうとしてはいけない」

その理由と、今後持つておく良い考え方についてまとめて行こうと思います。

□
■ 改めて『相場の不確実性』を腑に落とす

もう、今年に入って何度言ったか分からないですが(笑)

トレード、相場というのは常に『不確実性』の中で上下動していて

先の値動きがどうなるのかを予知・予見できる人は誰もいません。

まして、それをテクニカル分析で「予測し、的中させる」なんてことは不可能です。

それでもトレードで勝てる人と、そうでない人に二分されるのは

『不規則な相場に対して“トータルで勝てる一貫性”を持ったルールに沿ってトレード出来るかどうか』が

トレードで利益を上げられるかどうかの分かれ目になるからです。

つまり、自分が膨大な検証母数とフォワードテストの結果から導き出した

『目線とセットアップ』『エントリー』『決済』のルール(=型)が唯一の道標であり

それに従って確率論的(統計的)に勝ち負けを積み重ねていくしかないわけです。

▼参考ツイート▼

https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1592010950852255744?s=20&t=y_oZxddHsxbD4Uyn5276Sw

にもかかわらず、多くの人は

1回のトレードの結果に囚われて、その後いつものルールなら絶対やらないであろうことをしてしまったり(万能感によるもの、取り返したいという欲によるもの、原因はいろいろ)

普段なら10pipsくらいで損切りしているところを、その日だけは損切りせずに粘ってみたりと

「ランダムな相場の中で、ランダムな行動をとる」ことによって

変な勝ち方をしたり、変な負け方をする(そして、本人はその一貫性の無さに自覚がなかったりする)。

ある時、取り返しがつかないほどに大きな負けをこさえてしまったときに初めて

「自分はなにをやっていたんだろう、、、」と気付くのです。

こんなことを繰り返しては、当たり前ですがいつまでもトレードで利益を上げることはできません。

トレードにおいて一番やってはいけない事のひとつが「先の見えない相場で、”うまくたちまわろう”とすること」だというのは、覚えておいた方が良いでしょう。

30pipsで利確した後に、更に倍以上伸びたとしても、その『30pipsの利確』がルールに沿った決済だったのなら

それはチキン利食いでも何でもなく、その手法においては『ただしい判断』なのです。

だって、ルールに従ったわけですから。

その先の結果がどうなるかまでは、自分の型による分析で分かるわけではないので

先の見えない不確実性に頼って利確を伸ばす方が良くない。

逆に、ルールに従って損切り(建値撤退)した後に、結果として目線方向に値が伸びて行くのだった

『ルール通りに運用している』以上は、そうなる可能性だって検証・テストの結果である程度分かっていたはずです。

それはひとつの結果として、受け入れるしかない。

それらの部分的にネガティブな結果も引き受けたうえで、ルールに沿ったトレードを繰り返した結果

『トータルの収益がプラス』になれば、それで僕らの勝ちなのです。

僕らの仕事は、ただそれを繰り返すだけ。そのための型作りに、多くの時間とエネルギーを注ぎ込む。

型を作り上げたら、作った通りに運用しつつ、改善点を日々模索していく。

これが僕ら『トレーダー』の仕事です。

もちろん、趣味の延長として投機をやるという人もいるでしょうから、ここまで突き詰めてやる必要は無い

と考える人もいるのは理解しています。

ただ、これを仕事と捉えて“メシを食っていく覚悟”で臨もうとしているのであれば

是非ともこの考え方は腹の底に押し込んで、日々取り組んで行くべきでしょう。

Twitterでそこまでの意識、覚悟を持って取り組んでいる(もしくは発信している)人がどれだけいるか？

僕は正直大いに疑問に思っています(こんなこと、こんなところでしか言えませんがね)。

僕も引き続き今後の自己改善に向けて、更に検証母数を増やしていこうと思います。